



発行
城山親子会

No.845
立教186年
2023. 7. 22

城山大教会活動方針

日々生かされていることに感謝して、

ご恩報じにつとめよう

- 一、おつとめに心を込めよう
- 一、家族で日参を実行しよう
- 一、自分にできるおたすけをしよう
- 一、おちばがえりをしよう

本 部

年祭に向かって

リーフレットを先月配布しました、ようぼくに渡すだけでなく、月次祭や講社祭などで繰り返し読んで、年祭活動への参加を呼びかけて下さい。

ようぼく一斉活動日

案内チラシと参加カードを配布しました。教会から信者さんに、支部の会場への参加を促して下さい。

修養科一期講師推薦

金木分教会長 蒔田登紫行

天理大学、天理高校への進学
教会、ようぼく子弟にはおちばの学校に進むことで、信仰の土台を形成できます、是非お声掛け下さい。
ひのきしんスクール
「聴くことの大切さ」8月26日～27日
祭典時等の駐車場情報
混雑状況を発信しています。天理時報7月19日号に記事とQRコードが記載されています。
布教部オンライン講座
「若者と信仰」9月25日～10月31日配信 ホームページ「布教部オンライン講座申込みフォーム」より

大 教 会

創立記念祭

教会長夫妻の帰参計画を、8月22日までに提出して下さい。
(日程用紙配布)

団体、個々の帰参計画は9月22日までに提出して下さい。

「おつなぎ」下さる信者さんへの記念品の必要な数を、9月22日までに申し込み下さい。(当日の参拝者には当日の記念品があります。)

身上願について

身上願と、ご守護戴いての取り下げ願の用紙を作りました、上級への順序を運んで大教会にお願いして下さい。

八月月次祭神殿講話

役員 村田 勇 城都分教会長

廻廊拭きひのきしん(第 回)

実施日 6月25日

参加者 男子 7名 女子 1名 計 8名

毎月25日に廻廊拭きひのきしんを行います。

祭事部

月次祭のおつとめ奉仕

毎月のおつとめ奉仕並びに祭儀式の役割は、記念祭当日の役割に準じてつとめさせていただきます。出来るだけ欠席の無いようにお運びいただき、おつとめ下さい。又、地方に当たっている人は、三代真柱様のCDに合わせるよう十分練習をして下さい。

教務部

第九八三期修養科修了(七月)

橋本 あゆみ(東通) 22歳

布教所解散

八戸部内 山久布教所 北勇布教所(6月22日付)

布教部

布教強調月間の直属の動き

9月は布教強調月間の月ですので、この一ヶ月は御恩報じであります、においがけ活動を重点にお通りいただきたいと思います。つきましては、各教会・各直轄教会としてご計画していただき、ひと月を通じて活動をお願いいたします。(尚、活動計画を直轄ごとに取りまとめ、8月22日までに大教会布教部までご連絡ください)

部内会長さんの対話

只今は、創立百三十周年記念祭を間近に控え、また教祖百四十年祭活動の1年目のさ中、各教会の活動目標を立てていただき、日々お通りいただいていると存じます。布教部では今回第一回目として、浪岡部内の会長さん方を対象に、現在の取り組みや、教会の現状、今後の課題をお話しさせていただく機会を設け、教会内容の充実を図りたいと存じます。(今後、順次部内教会を回らせていただきます。)

城山ミュンヘン出張所2023年6月報告 荒関美智子

出張所月次祭を美智子、セバステイアン、陽子の三人でつとめました。

その他、美智子がミュンヘン市の報道機関を対象にした行事に招待されました。ミュンヘン市の中の宗教間対話と文化的共同事業を管轄する専門部局から、ミュンヘンにおける代表的な宗教団体の一つとして、天理教を紹介したいとの依頼があったのです。

さらには空間性並びに可視性といったテーマに対し、城山ミュンヘン出張所として何か要望があるかを問われましたが、これについて荒関美智子が提案したのは、例えば礼拝儀式や慈善活動といった共通のテーマに対して相互間でより強固な交流を促進するために、ミュンヘン市とこの地に居を構える他の宗教団体との更なる会合の開催が必要であると考え、というものでした。この提案は感謝を持って受け入れられ、この件の今後の扱いに関してはミュンヘン市側で検討されることとなりました。

ミュンヘンの市長、およびミュンヘン人道主義協会の代表者との写真が以下のサイトにあります。参照願います。

<https://ru.muenchen.de/2023/115/Fachberatung-fuer-religi-oes-weltanschauliche-VielFalt-nimmt-Arbeit-auf-107601>

更に加えて、バチカンのイニシアティブの下ローマに本部を置く Sant Edidio (聖エジディオ共同体) によって毎年開催されている「国際平和の集い」に荒関美智子が招待を受けました。この集いは、本年は2023年9月10日〜12日にベルリンで行われる予定です、本教の他の布教所の代表者及び天理教ヨーロッパ出張所長も同様に参加の予定です。この詳細は改めて連絡させていただきま

す。
美智子さんが書いている「空間性」、「可視性」が何を意味しているのが今一つはつきりしませんが、おそらく「周囲の偏見を取り除くため、様々な世界観を持った諸宗教が具体的な形で集い(空間性)、見える形でアピールする(可視性)」くらいの意味かなと想像します。(菅井)

ホームページの内容を月報の末尾に載せます。

婦人会

こかんさまに続く会

日時 9月3日(日)9時30分 詰所集合

内容 こかんさまについてのお話

ひのきしん、ランチ会など

15時30分終了予定

青森より帰参ハイエースを計画しています。問い合わせ先 女子青年委員長まで。

ニュース

おさづけの理拝戴

7月12日 橋本 あゆみ (東通) 22歳

年 祭

五所川原分教会では、七代会長長田中眞一大人の二十年祭、並びに七代会長夫人田中信子刀自の三十年祭が、6月30日、大教会長祭主のもとに執行されました。

けいじばん

八月大教会神殿奉仕

7月27日 〃 8月1日 道

8月1日 〃 6日 五所川原

8月6日 〃 11日 板柳

8月11日 〃 16日 きやま講

8月16日 〃 21日 竹鼻

8月21日 〃 24日 大教会役員、陽徳（布）

8月25日 〃 26日 きやま講

8月27日 〃 9月1日 輪栄

大教会伏せ込みひのきしん 教務部

修養科始業講習 小田真一郎、小田裕

修養科修了講習 小野道幸

教養掛 赤平治三（7月24日 〃 8月28日）

北山道治（8月24日 〃 9月28日）

婦人会当番

八月教祖おみやげ、女鳴物、厨房、洗濯当番、詰所ひのきしん

外ヶ濱、油川、新横須賀 各委員会

八月委員伏せ込みひのきしん

高橋節、蒔田由美子

八月月次祭祭典雅楽

一、調子 黄鐘調

一、曲目 拾翠楽 海青楽 千秋楽
越殿楽 鳥急 西王楽破

詰所まなび月次祭

日 時 8月13日（日）午後5時から

宗教的・世界観的な多様性のための 専門相談所が仕事を開始

フェレーナ・ディートウル市長は記者会見の席上、宗教的・世界観的多様性のための新たな専門相談所開設の紹介をおこなった。ミュンヘン市が提供するこの相談所は、宗教的・世界観的多様性、及びそれに類似するテーマに関わる問い合わせや関心についての問題を公的に扱う機関である。この相談所の目的は、宗教的・世界観的冷遇、締め出し及び周縁化（周辺に追いやるような動き）を打破し、多様性と権利のために寄与すること。このために特に宗教的・世界観的団体、施設、市当局、及び市民がこの相談所に相談を依頼することが可能である。この相談は無料で、解決への方向付けを中立的立場でおこなう。問い合わせ希望者は専門相談所で受け付けられ、特に情報提供、サポート、寄り添い、また市当局へコンタクトがその相談対象である。この専門部局は州都ミュンヘン市が提供し、諸文化間事業部局に属している。



宗教的多様性専門相談部局の開設に伴い、フェレーナ・ディートウル市長（左から二人目）は、諸文化事業部局の専門相談員トゥアン・トゥラン氏（右から二人目）、ヴォルフガング・ヴシェック氏（人道主義協会）、そして荒関美智子氏（社団法人天理教）を市庁舎に迎えた。フェレーナ・ディートウル市長は「たくさんの宗教的・世界観的団体が、拒絶にまで至るような様々な制限というものを何度も経験している。私たちは、この専門相談所は、この安心できない状況、無知、そしてこれに伴って現れる数多くの制限を打ち破ることに寄与したいと考えている。存在する障害はそれを確認し、取り除くべきものだ。このように私たちは当市における宗教的・世界観的多様性を促進している」と述べた。

この必要性は大きい。このことはまた、宗教的・世界観的団体の側からも強調される。その中でも彼らにとっての中心的課題は、市当局とのコンタクトに際してのサポートの不十分さ、彼らが提供するそれぞれの情報資料の存在があまり知られていないこと、また実際に経験した差別への注意喚起が必要であるという点である。

参照 <https://ru.muenchen.de/2023/115/Fachberatung-fuer-religioes-weltanschauliche-Vielfalt-nimmt-Arbeit-auf-107601> （訳 菅井）

※ウェブの記事の中で繰り返して述べられている「宗教的・世界観的」という文言ですが、「宗教的・世界観的団体」と言う場合の「宗教的」とは「キリスト教とは異なる宗教の」という意味で、「世界観的」とは「ヨーロッパ人が通常持つ世界や人間に対する見方、考え方とは異なるものの見方、考え方を持った」くらいの意味と思います。

「宗教的・世界観的多様性」と言った場合は、そのまま「宗教的（信仰的）多様性、ものの見方、考え方の多様性」という意味になります。（菅井）

八月月次祭々典役割表

立教一八六年（令和五年）

八月二十二日十時執行

祭主	大教会長			扈者	石原旬一	村田勇			賛者	瀬川初人	森内聖也			指図方	小野道幸			献饌長	工藤寿美			ておどり	すわりづとめ	前半下り	後半下り
		大教会長	小田真一郎				堀口教之					棟方典人													
	高橋邦和	田中美穂子	宮澤民枝	會長夫人	高橋邦武	須藤宏文	澤野公志																		
	村田勇	工藤寿美	阿部豊	関美佐子	野中華子	高橋啓子	戸塚美代子																		
	工藤寿美	柏田親邦	近藤文雄	柴田知弘	五日市正道																				
	田中道弘	小田裕	佐々木誠																						
	石原旬一	相内知昭	蒔田登紫行																						
	赤平治三	森内聖也	高橋邦之																						
	小田美枝子	高橋節	芝崎みよ子																						
	荒関美智子	村田良子	平生光枝																						
	小田晴恵	蒔田由美子	相内真喜子																						
	小野道幸	瀬川初人	秋山亮克																						
	下山武	小関善信	田口栄一																						

○直轄の会長さんは、役割に当たっている人にお声掛けを、よろしくお願ひします。
 ○地方は、真柱様のCD（「三代真柱」と表示）に合わせるよう十分練習して下さい。
 ○婦人の帯は、六月〜九月は夏物、十月〜五月は冬物。
 ○止むなく奉仕できない場合は、前日までに大教会へ届け出て下さい。

控え

おつとめ奉仕者以外の全教会長夫妻、全布教所長
 松浦春年、須藤司、田中元直、小田真二、櫻田陽一